

平成31年度 子どもの思いを実現し、豊かな学級をつくる学級活動講座 実施要項

1 目 的

自主的・実践的な学級活動の時間の充実を図るための指導の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。

2 期 日 平成31年8月23日（金）

3 会 場 福島県教育センター（福島市瀬上町字五月田16）

4 日程・内容

時 間	内 容
9:40～9:50	受 付 ※受付場所 第1棟 4階141研修室
9:50～10:00	開 会 141研修室
10:00～10:50	講 義 「学級活動における話合いの充実に向けた指導のポイント」
11:00～12:00	講 義 「学級活動の指導の実際」 141・142研修室
13:00～14:00	協 議 「学級活動の指導の改善策の検討」 141研修室
14:15～15:45	講 義 「子どもが、学級が、学校が変わる特別活動」 竹早教員保育士養成所 副所長 河野 紀之
15:45～16:00	閉 会

2 準備物等

(1) 書籍及び資料等

【小学校】

- 「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編」 平成29年7月 文部科学省
- 「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編（教師向けパンフレット）」
平成30年7月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

【中学校】

- 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編」 平成29年7月 文部科学省
- 「学級・学校文化を創る特別活動 中学校編（教員向けパンフレット）」
平成26年6月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

(2) 事前課題

- 「学級活動の指導の改善策の検討」で使用する資料

ア 様式等

・（様式1）

※これまでの自身の学級活動で行われた話合い活動について振り返り、A4判縦置き1枚程度（2枚でも可）に下記の内容でまとめる。

(様式1)

学 校 名	〇〇〇立〇〇〇学校	氏 名	
-------	-----------	-----	--

○ 学級活動の話し合い活動において課題のあった実践事例

実践事例1

1 学年・議題または題材 〇年・〇〇〇〇

2 課題があった授業場面の紹介

※課題があった授業場面を他の研修者に伝わるように具体的に記述する。

※紹介に含めるとよい項目の例

- ・ 本時の活動（話し合い活動の様子、板書等）
- ・ 事前の活動（議題の決定、計画委員会、教室掲示等）
- ・ 事後の活動（決めたことの実践、振り返り等）
- ・ 児童生徒の発言の内容
- ・ 教師の指導・助言の内容 等

※教師側の課題の中心はどこにあったのかが分かるように、アンダーライン等を活用して示す。

3 改善策

※上記の課題を解消するために、こうすればよかったのではないかという点について記述する。

実践事例2

※研修で話題にしたい実践事例がいくつかある場合には紹介する。

※その他紹介に必要な資料がある場合には添付する。

イ 提出方法

・ 8月9日（金）必着

・ Email で送付（下記「3 教科に関する問い合わせ先」へ送付する。）

※件名を「小中特活専門一課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。

・ 研修当日、教科研修開始時に32部提出

※2ページとなった場合は両面印刷とする。

※別添の資料がある場合にはあわせて印刷し、複数枚の場合には、左上一か所留めとする。

(3) その他

○ 上履き

○ 食費 390円

※教育センター内の食堂を全員利用するので、受付時に納入する。

6 留意事項

(1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。

(2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。

※「駐車場案内図」は、教育センターWebサイトで確認すること。

7 研修講座授業後のアンケートについて

受講3か月後以降に、教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「研修講座受講後のアンケート」より研修の成果とその活用について回答してください。

8 問い合わせ先

(1) 欠席等について

福島県教育センター 総合企画チーム

TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588

Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp

(2) 研修内容について

福島県教育センター 教員研修チーム 特別活動担当

TEL 024-572-4183 FAX 024-554-1588

Email kyouin-kenshu31-gr@fcs.ed.jp